

## 第 1 章 計画の背景・目的等



# 第1章 計画の背景・目的等

## 1 背景

本区は、延床面積で約 84 万㎡にのぼる建築物系公共施設を保有していますが、その半分以上を学校施設が占めています。その大半が昭和 30 年代から昭和 50 年代中頃までに、人口の急増を受けて集中的に整備されました。そのため、小学校の約 4 割、中学校の約 3 割の校舎などで建築から 50 年以上を経過するなど、全体的に施設の老朽化が進んでいます。今後、多くの学校施設で建替えの時期を迎えることとなり、多額の費用が必要となるため、適正な維持管理が課題となっています。

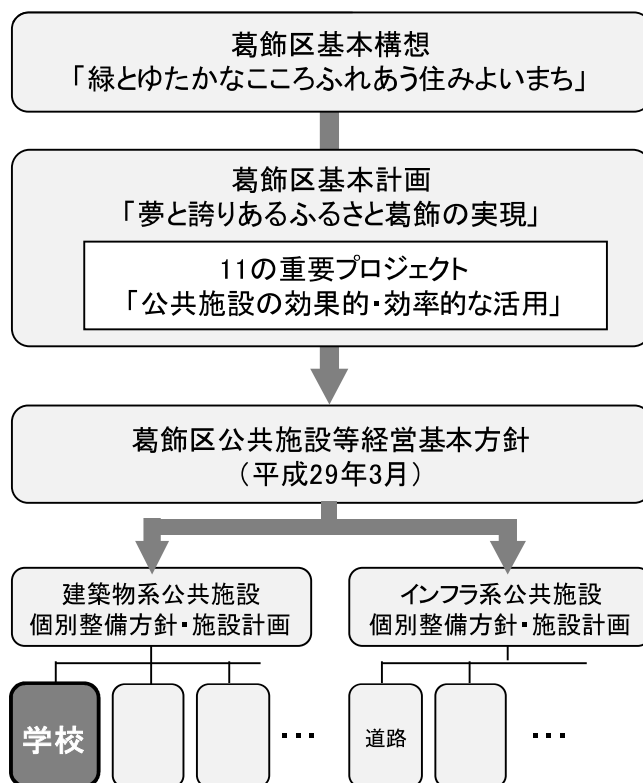
## 2 目的

本計画は、「葛飾区基本構想」及び「葛飾区基本計画」の主旨を踏まえた「葛飾区公共施設等経営基本方針」に基づき策定することとなっている「建築物系公共施設の個別整備方針・施設計画」と位置づけられます。

学校施設の建替えや大規模な改修には多額の費用がかかるため、短期間に全てを行うことはできません。現在の学校施設をできるだけ長期間、安全・安心かつ快適に利用しながら、計画的に建替えや大規模改修を進めるためには、コスト抑制も考慮した学校施設整備の方針・計画を検討する必要があります。

本計画は、学校教育環境の維持・向上のため、施設の長寿命化などによりコストの縮減・平準化を図りつつ、適正に維持管理を行うことを目的として策定します。

図表 1 計画の位置づけ



### 3 計画期間

平成 31 (2019) 年度～平成 40 (2028) 年度の 10 年間程度

保全工事計画や学校改築事業の状況、地域全体の公共施設のあり方、人口変動など、学校を取りまく環境の変化を踏まえて 5 年程度で見直しを行います。

### 4 対象施設

対象施設は、区立小・中学校 73 校とします。

図表 2 対象施設数・延床面積

区 分	施設数	延床面積
小学校	49 校	27 万 9,137 m <sup>2</sup>
中学校	24 校	16 万 6,801 m <sup>2</sup>

※区立特別支援学校 1 校と区立幼稚園 3 園は、建物の基本情報について記載しています。